

「仕事とプライベートの両立」実態調査

「仕事とプライベートを両立したい」人は 88.0%。

「仕事とプライベートを両立できていない」人は 50.7%！

「仕事とプライベートの両立」ができていない人は、仕事の「勤務時間」、「休日」への満足度が高い！

「仕事とプライベートの両立」はビジネスパーソンにとって、重要なテーマのひとつではないだろうか。日本では、2007年に「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」が策定され、様々な取り組みが進められている。そんな中、若手ビジネスパーソンは「仕事とプライベートの両立」に関して、どのような意識を持っているのだろうか。また、実際、「仕事とプライベート」は両立できるのだろうか。

今回、オウチーノ総研(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、20~39歳の未婚男女 662名を対象に、『ワークライフバランス』に関するアンケート調査を行った。まず、「仕事とプライベートを両立したいと思いますか?」という質問をした。「強くそう思う」・「まあまあそう思う」と回答した人を合わせると、88.0%が「仕事とプライベートを両立したい」と思っていることが分かった。次に、「現在、仕事とプライベートを両立できていますか?」と聞いたところ、「できている」・「まあまあできている」と回答した人は合わせて 49.3%、「あまりできていない」・「全くできていない」と回答した人は合わせて 50.7%だった。「仕事とプライベートを両立したい」と回答した人の中で、「あまり両立できていない」・「全くできていない」と回答した人は 49.7%。約半数の人が、理想通りにはいかない、厳しい現実のようだ。

■調査概要

有効回答 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)在住の 20~39歳、未婚男女 662名

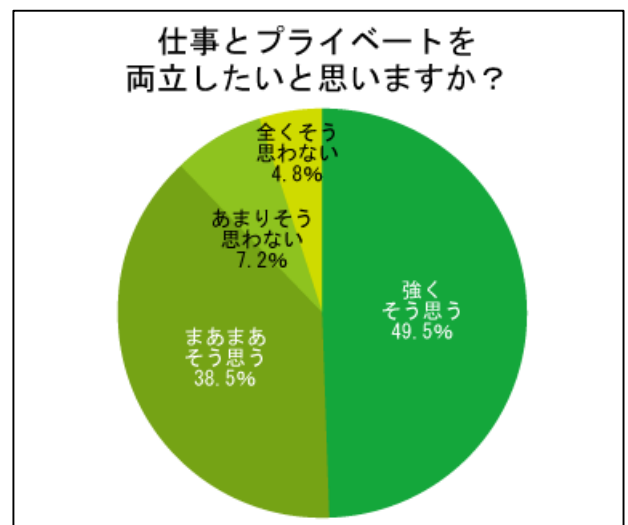
調査方法 インターネットによるアンケート調査

調査期間 2015年4月7日(火)~4月8日(水)

1. 88.0%が、「仕事とプライベートを両立したい」と回答！

まず、「仕事とプライベートを両立したいと思いますか?」という質問をした。結果、「強くそう思う」と回答した人は 49.5%、「まあまあそう思う」と回答した人が 38.5%、「あまりそう思わない」と回答した人が 7.2%、「全くそう思わない」と回答した人が 4.8%だった。「強くそう思う」と「まあまあそう思う」人を合わせると、88.0%が「仕事とプライベートを両立したい」と思っていることが分かった。

「両立したい」理由を聞くと、最も多かったのが、「自分の時間を持ち、趣味を頑張りたいから」(24歳/男性)や、「家族が大事だから」(27歳/男性)など、「プライベートを充実させたいから」という理由だった。次いで、「どちらも充実してこそ、満たされた人生が過ごせると思うから」(35歳/女性)や、「収入とプライベートのバランスをとるべきだから」(38歳/女性)など、「双方のバランスが大事だから」という理由が多かった。



2. 50.7%が「仕事とプライベートを両立できていない」!

次に、「現在、仕事とプライベートを両立できていますか?」と聞いた。結果、「できている」と回答した人が 11.4%、「まあまあできている」と回答した人が 37.9%、「あまりできていない」と回答した人が 35.3%、「全くできていない」と回答した人が 15.4%だった。「あまりできていない」、「全くできていない」と回答した人を合わせると、「仕事とプライベートを両立できていない」人は 50.7%だった。また、「仕事とプライベートを両立したい」と回答した人のうち、「両立できている」人が 50.3%、「両立できていない」人が 49.7%だった。

「恋人がいる」人のうち、「両立できている」人は 59.9%、対して「恋人がいない」人のうち、「両立できている」人は 44.2%だった。恋人の存在が、「仕事とプライベートの両立」に良い影響を与えているようだ。

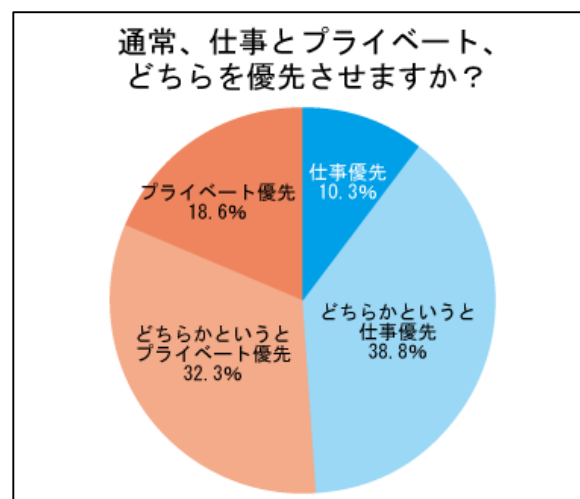
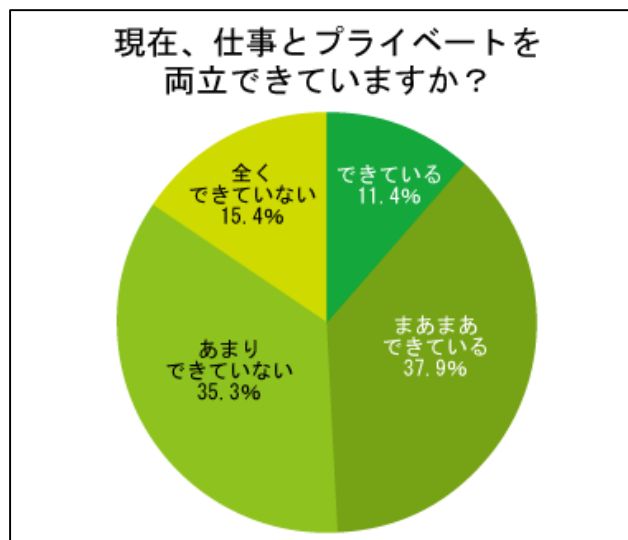
「両立できている」理由を聞くと、「残業が無く、趣味が充実しているから」(28歳/女性)や、「残業は必要な時だけだから」(35歳/女性)、「有給休暇が取りやすいから」(25歳/男性)など、「自分の時間をしっかり取れているから」という理由が最も多かった。他には、「仕事も問題なくこなし、恋愛もできているから」(26歳/男性)のように、「両方とも充実しているから」という理由や、「仕事は極力自宅へ持ち帰らないようにしているから」(37歳/男性)や「プライベート中は仕事のことは考えないから」(26歳/女性)など、「オンオフの切り替えができていているから」という理由が挙げられた。

「両立できていない」理由として、もっとも多く挙げられたのは、「アフター5も週末もほぼ休めないから」(37歳/男性)や、「仕事に時間を取られ、家事がおろそかになっているから」(27歳/女性)など、「仕事が忙しくプライベートの時間が取れていないから」だった。他には、「どちらも中途半端だと思うから」(26歳/男性)、「収入が低いから」(27歳/男性)などの理由が挙げられた。

3. 「仕事・プライベートの優先順位」に男女差はほとんど無い。

次に、「通常、仕事とプライベート、どちらを優先させますか?」という質問をした。結果、「仕事優先」という人が 10.3%、「どちらかという仕事優先」という人が 38.8%、「どちらかというプライベート優先」という人が 32.3%、「プライベート優先」という人が 18.6%だった。「仕事優先」という人は合わせて 49.1%、「プライベート優先」という人は、合わせて 50.9%と、半々に分かれる結果となった。

男女別に見ると、男性は「仕事優先」が 51.1%、「プライベート優先」が 48.9%。女性は「仕事優先」が 47.2%、「プライベート優先」が 52.8%だった。男性の方がわずかに仕事を優先する人が多いが、意外にも、男女間の差はほとんど無いことが分かった。



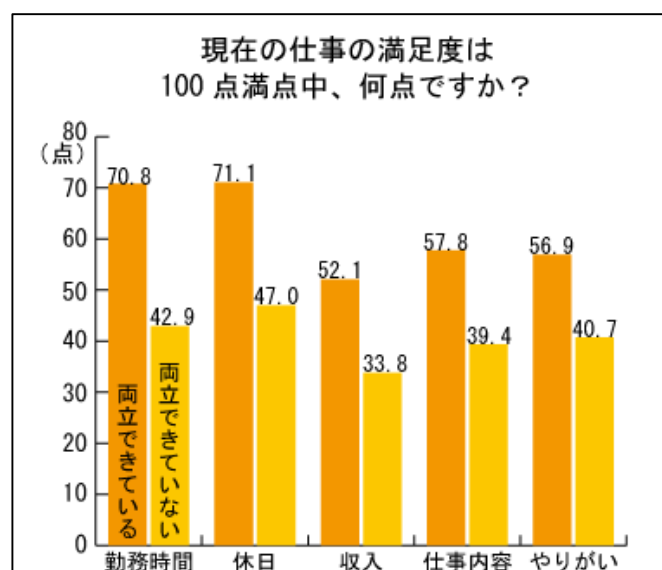
4. 「仕事とプライベートの両立」ができている人は、「勤務時間」、「休日」への満足度が高い！

最後に、「現在の仕事の満足度は、何点ですか？」という質問をした。「勤務時間(残業など)について」、「休日(休日出勤や有給休暇など)について」、「収入について」、「仕事内容について」、「仕事のやりがいについて」の5項目について、それぞれ満足度を100点満点で回答してもらった。平均を出すと、「勤務時間について」は56.7点、「休日について」は58.9点、「収入について」は42.8点、「仕事内容について」は48.4点、「仕事のやりがいについて」は48.7点だった。

「仕事とプライベートを両立できている」と回答した人の平均は、「勤務時間について」が70.8点、「休日について」が71.1点、「収入について」が52.1点、「仕事内容について」

が57.8点、「仕事のやりがいについて」が56.9点だった。それに対し、「両立できていない」人は、「勤務時間について」が42.9点、「休日について」が47.0点、「収入について」が33.8点、「仕事内容について」が39.4点、「仕事のやりがいについて」が40.7点と、「両立できている」人と比べると5項目とも大幅に点数が低かった。

「仕事とプライベートの両立」ができている人は、「勤務時間」と「休日」に対する満足度が高かった。プライベートの時間がしっかり取れることが、両立のためには重要なようだ。



オウチーノ総研: <http://corporate.o-uccino.jp/research-o/>

オウチーノ de ヨムーノ: <http://www.o-uccino.jp/article/tag/soukenn/>